

全県共通事業で公衛協PR 専門研修でリーダー養成も

当協会では、公衛協活動の支援策として、環境づくり・健康づくりを目的に「全県共通事業重点メニュー」の提案や、推進委員の養成・育成のための各種研修会などを開催する。今回は、今年度実施している「全県共通事業重点メニュー」と「専門研修」の概要を紹介する。

～全県共通重点メニュー
活動促進グッズ(一例)～
【広島発・瀬戸内海美化大作戦】



【公衛協発 ウォーキング事業】

「1万人のエコチェック事業」は、全公衛協推進委員を対象に実施しているもので、9月分の電気使用量の削減に取り組む、その結果を電気使用量の明細書から把握・記録するというもの。併せて、削減効果を計るために、前年同月との比較を行う。全推進委員の50%以上の実践率を目標としているので、ぜひとも参加いただきたい。

「広島発・瀬戸内海美化大作戦」は、広島県の財産とも言える瀬戸内海をキーワードに、その恩恵を持続的に受けられるよう、環境保全活動に取り組むというものである。地域清掃・美化や水質改善・水質保全、水の源でもある里山・里山の保全活動を展開し、その活動記録を広く公表していくことで、公衛協のPRにつなげていく。今年度は、提供グッズとして公衛協ののぼりを追加したので、活動の際に大いに利用していただきたい。

健康づくりのメニューでは「1万人の食チェック事業」「公衛協発ウォーキング事業」を展開している。「1万人の食チェック事業」は、全公衛協推進委員を対象に、各自が食事で摂取した食品数をチェックするというもの。6月19日から25日までの強化期間は毎日、これ以降は毎月19日(食育の日)に定期的に記録していく。7月11日・12日に呉市で開催される第52回環境保健夏季大会において、取り組み結果が報告される予定。

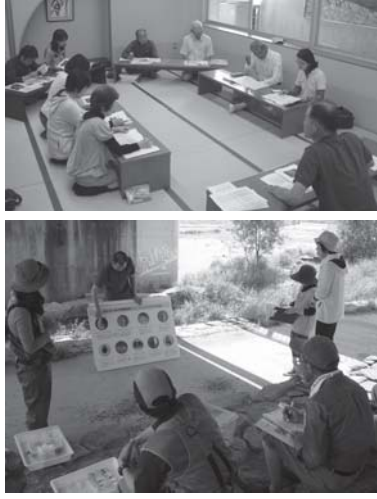
「公衛協発 ウォーキング事業」は、公衛協が中心となつて住民の日常的な健康づくりに寄与するため、ウォーキングコースの設定や事業・イベントの実施をするというもの。公衛協らしいウォーキングコースとして、ただ歩くだけでなく、環境の視点

を入れたコース・ポイントを設定することが特徴である。以上、4つの全県共通事業重点メニューには、それぞれ活動促進グッズを準備している。公衛協のPRとともに、大いに活用いただきたい。

【専門研修】
「専門研修」は、公衆衛生推進委員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、環境協が開催するもので、毎年テーマを変更して実施している。今年度実施するテーマは「基礎研修の開き方コース」「水辺教室指導者養成・認定コース」「企画づくりコース」で、5月下旬～8月上旬にかけて開催する。

「水辺教室指導者養成・認定コース」は、公衛協事業として人気の高い「水辺教室(川の生物を通して地域環境学習)」の講師となる人材育成を目的としたもので、5月22日から6月5日にかけて県内3カ所で開催した。7公衛協から延べ40人が参加し、水辺教室の独力開催に向けた準備を行った。

6月17日に開催した「基礎研修の開き方コース」では、公衆衛生推進手帖を活用して各地域で独自に基礎研修が開催できるよう、パワーポイントなどの教材や研修の進め方のシナリオづくりを行った。基礎研修とは、公衛協の基礎的な情報(公衛協の役割、事業、募金など)を伝える場で、4市2町公衛協から15人が参加し、各公衛協でどのような話をすればよいかを整理した。「企画づくりコース」は、1泊2日の合宿研修で、「こんな活動がしたい、こんなことをやってみ



座学と現場実習を通じて、独自開催を目指す水辺指導者養成・認定コース

たい」という思いを、「事業」という形にまとめ、体験を通して学ぶ。8月7日から8日の1泊2日で、呉市で開催されるので、ぜひとも参加いただきたい。

いずれのコースも、実践活動を行う際の基礎的な知識・技術を専門的に習得できるように工夫している。この機会に、ぜひ本研修に参加して、公衛協活動の活性化を図ってほしい。

(地域活動支援センター)

脱温暖化センターひろしま 平成25年度の事業計画

脱温暖化センターひろしまは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化対策地域協議会や地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員という)のみならず、連携しながら、広島県の地球温暖化防止活動を推進しています。

平成25年度は、環境省や広島県の3つの事業「地域における地球温暖化防止活動促進業務(全国地球温暖化防止活動推進センター委託事業)」、「地域での連携事業体によるCO2排出削減促進事業(環境省補助事業)」、「地球温暖化対策地域協議会設立支援業務(広島県受託事業)」を展開するなかで、地球温暖化防止活動に取り組めます。

これらの事業で具体的な成果をあげるため、次の4つの実践活動を展開します。

① 温室効果ガス排出抑制等のための実態調査と活用
行政や活動団体と連携して、環境家計簿モニターを公募し、一般家庭の温室効果ガス排出実態を調査します。また、省エネ活動を促進するため、省エネ活動メニュー集やエネルギー使用診断ツールを教材に、県内各地で学習会を開催します。調査結果は年次レポートにまとめ、調査結果を分析して対策提案に結びつけます。

② 地球温暖化対策地域協議会や地球温暖化防止活動推進員の支援
地球温暖化対策地域協議会の未設置市町では、設置に向けた取り組みを支援します。

③ 普及啓発・広報等
一般家庭の温室効果ガスの排出実態調査結果や対策提案等をもとに、省エネ活動メニュー集を作成します。この資料は、研修で活用するほか、地域学習会で活用します。さらに、省エネ活動メニュー集からパネルなどの教材を作成し、地域学習会やイベントなどで活用します。これら連動した活動や教材情報は、ホームページや情報紙で広く公表する予定です。

④ 調査研究事業
温室効果ガス排出抑制に向け、「エネルギーの無駄追放プロジェクト(家庭で取り組む電気の省エネ)」「キッチン改革プロジェクト(エコクッキングの有効性を検証)」「緑のカーテンプロジェクト(効果的な緑のカーテンの普及拡大)」「エコドライブ診断プロジェクト(エコドライブの有効性を検証)」

このほか、推進員の協力を得て、全国地球温暖化防止活動推進センターが実施する「家庭工口診断推進整備事業」にも参加し、100世帯を対象に家庭工口診断を実施する予定です。

(脱温暖化センターひろしま)



調査研究内容を企画